

次期共生ビジョンの策定及びスケジュールについて

現行の「第2次能代山本定住自立圏共生ビジョン」の期間は、令和2年度から令和7年度までの5年間となっており、令和8年度以降も取組を継続するため、令和7年度中に次期共生ビジョンを策定する。

1. 概要

定住自立圏構想とは、生活に必要な都市機能について一定の集積がある「中心市」と、住民生活等において中心市と密接な関係を有する「近隣市町村」が、定住の受け皿として「定住自立圏」を形成し、互いに連携・協力することにより、住民の生活に必要な機能を確保して定住を促進するとともに、圏域全体の活性化を図る構想である。

能代市は、平成27年（2015年）7月から、藤里町、三種町、八峰町とともに定住自立圏の形成に向けて検討会を立ち上げ、連携可能な取組等の協議に着手し、同年9月16日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行った。

その後、定住自立圏の形成に関する協定書について各市町の議決を経て、同年12月25日に能代市と圏域3町との間で1対1の協定を締結した。



資料：総務省

2. 策定体制

【定住自立圏構想検討会】

各市町の職員で構成し、協定に規定する取組や、ビジョンに位置づける具体的な事業等を検討する。

【定住自立圏共生ビジョン懇談会】

懇談会では、共生ビジョンに盛り込むこととされている圏域の将来像や、医療、福祉、産業振興、公共交通等の分野ごとに位置づけようとする具体的な取組案に対し、ご意見やご提言をいただく。

3. 策定スケジュールについて

本 日：次期共生ビジョンたたき台の協議・検討（懇談会）

10月：次期共生ビジョン素案の検討・作成（検討会）

11月：次期共生ビジョン素案の協議・検討（懇談会）

12月：協定の一部を変更する協定締結式（1市3町）

1月：次期共生ビジョン素案の検討・作成（検討会）

1月：次期共生ビジョン素案の協議・検討（懇談会）

2月：次期共生ビジョン素案のパブリックコメントの実施

3月：次期共生ビジョンの検討・作成（検討会）

3月：次期共生ビジョンの協議・検討（懇談会）

3月：次期共生ビジョン策定